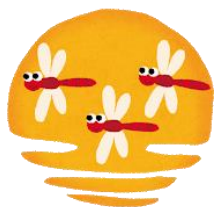


# きんもくせい

令和元年10月8日発行  
静岡県養護教諭研究会  
代表 増田 真澄  
(磐田市立城山中学校)



## 「 尽力 」

静岡県養護教諭研究会 幹事 前田 智恵子

「尽力」これは、私の勤務する中学校の校訓です。本校の考える尽力には「全力で取り組む」「人のために尽くす」「継続してやり遂げる」という意味があります。

本研究会で、調査研究委員として実態調査や研修会アンケートの集計をする中で、静岡県の養護教諭が、毎日、学校や児童生徒のために「尽力」している姿が想像できました。養護教諭の日々の努力、研修に対する意欲は、まさに、人のために尽くす力で溢れています。それと共に、養護教諭として専門的な意見や判断を求められた時、児童生徒の悩みを聞いた時、けがや病気の手当てをした時に、あの判断やあの対応は良かったのだろうかと不安な思いに駆られながらも、その後の経過を継続して確認しています。

私自身、今回、研究会の幹事という役を引き受けたので、養護教諭同士の縦横のつながりや関係機関との連携協働、養護教諭の職務について、深く考えることができ、とても良い刺激を受けています。

いつでも力一杯。それは素晴らしいことですが、それだけに止まらず、上手に切り替えをして、リラックスできる時間をつくり、オン・オフのバランスを保つことで「やる気」や「新しい考え」が生まれるのだと思います。これからも、次へのエネルギーを蓄え、仲間と共に、再び力を尽くしていきたいと思います。



## 地区紹介



### 駿東地区

駿東地区は、御殿場市・裾野市・小山町・清水町・長泉町の2市3町で成り立っており、小学校30校（複数配置3校）、中学校18校、会員数51名で組織されています。

4つの支部に分かれ、支部ごとにテーマを設定し研修に取り組んでいます。8月に行われた地区教育研究集会では、第1支部が「誰もが安心できる保健室をめざして～子どもが安心！学校が安心！私が安心！～」をテーマに実践発表を行いました。毎年1つの支部の実践発表と研究協議を行うことで、地区全体の研修を深めています。

また、年4回の地区研修会では、班別研修で養護教諭同士の交流を図ったり、講演会を開催したりしています。

7月には、大草心理臨床・教育相談室の大草正信氏をお招きし、保健主事と合同で、「ながら」対話を習得する～心のない思いが思えるようになる対話法～について研修を行いました。11月にも講師をお招きし、研修を深める予定です。今後も養護教諭としてのスキルアップを目指して研修を積んでいきたいと思っています。



# 「ことばのもつエネルギー」

静岡県養護教諭研究会 幹事 原間 直子

行事に元気に参加してほしいという養護教諭の思いから、運動会や修学旅行等の前に「かぜをひかないように…」「けがをしないように…」と子供たちに話すことがあります。NLP教育セラピストの桑原規歌氏の講演を聞く機会が何回もあり、ことばと脳の関係に興味をもちました。同氏によると「脳は否定語を理解できない」ということでした。例えば、「けがをしないように」という否定語は、「けがをしている自分」をイメージしてしまい、結果、「けがをする」ことにつながります。また、「今日、嫌なことなかった？」という声かけを繰り返すと、素敵なことや楽しいことがあっても、脳は嫌なことを探すことが習慣となり、いつも「嫌なことだらけ」と脳は思ってしまう。

保健室には、毎日、何らかの問題を抱えて、入室する子供が大勢います。ことばのもつエネルギーや声かけのタイミングで、子供の感情がプラスにも、マイナスにも向くので、子供への声のかけ方の難しさを日々感じています。子供たちが、素敵なこと、楽しいことを見つけることが得意になり、楽しく前向きに過ごせるよう、これからもことばのもつエネルギーを意識して、子供たちに声をかけていきたいと思えます。



## 養護教諭夏季研修会

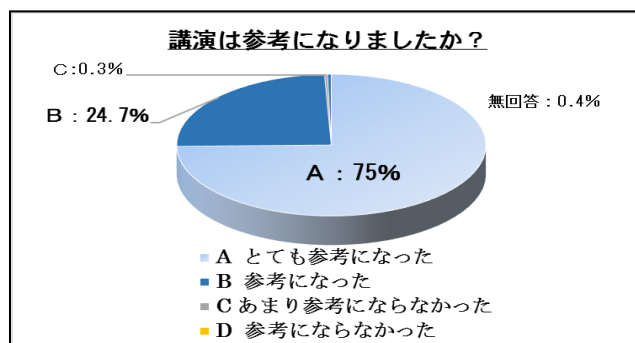
8月6日(火) 会場: グランシップ

静岡県教育委員会主催の養護教諭講習会終了後、本会主催の養護教諭夏季研修会が行われました。今回は、「養護教諭が行うフィジカルアセスメント～問診を中心に～」と題し、国際医療福祉大学医学部総合診療医学主任教授 大平善之氏に御講演をいただきました。子供たちの症状や訴えから、重症度・緊急度そして病院に受診すべきどうかを判断するにあたり、改めて、問診の重要性を認識するとともに、根拠があつての対応が大切であることを学びました。



〈アンケート結果より〉

- ・資料を自分で印刷していくことで、事前に目を通すことができ、研修への意欲が高まった。
- ・わかりやすい学びの多い時間だった。専門職として、学校、子供の安心・安全を可能な限り広げていくために、自分たちも学ぶことの大切さを再確認した。
- ・養護教諭は医師ではないが、総合医療の視点は大事であり、常に意識していきたいと思った。
- ・日々、問診は大切にしていたが、この研修でエビデンスを得た感じがした。同時に、とても心強く感じた。
- ・勉強にはなったが、養護教諭にここまで求められるのか、必要なか悩んだ。(不安になった。)



## 令和元年度 冬季研修会のお知らせ

テーマ「 養護教諭の基本的な職務を見直し、現代的なニーズに応える 」

養護教諭に求められることが増えている中で、皆さんは、「養護教諭の不易な活動」(いつでも誰でもが必ずやるべき活動)について、振り返って見たことはありますか。

今回は、養護教諭実践事例集16の監修者であり、全国養護教諭連絡協議会名誉顧問 林典子先生を講師にお迎えし、養護教諭の不易な活動についての実践的な研修をします。多くの会員の御参加をお待ちしています。

開催日: 12月17日(火) 会場: グランシップ

実践事例集16を活用しての研修会です。お楽しみに!

